

第9回 苫小牧市スポーツ推進審議会 次第

日時 平成29年12月19日(火) 18時から

場所 苫小牧市役所 5階(第2応接室)

1 開会

2 議事

(1) 平成29年度スポーツ施策実施報告及び平成30年度スポーツ施策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～5

(2) 「苫小牧市スポーツ施策についての意見書」について・・・・・・ P 6

(3) 平成29年度のスポーツ施設整備状況について・・・・・・・・・・ P 7

(4) 今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8

3 その他

4 閉会

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成29年度実施実績・見込み及び平成30年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成29年度			平成30年度
								平成29年度実施実績・見込み	事業評価	備考	平成30年度予定
1	競技大会	全世代	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	とまこまいマラソンを開催する。	10月8日（日）に3km、5km、10km、ハーフマラソンと道内でも数少ない車椅子ハーフマラソンの5種目を実施し、2,242人の参加があった。	B （概ね順調に実施）	・スポーツ推進委員も協力	実施内容を検討中
2	競技大会	全世代	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	バドミントン、卓球、ソフトテニス、スポンジテニス、ミニバレー、フロアカーリングの7競技の市民大会を開催し、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを図る。	7競技を開催し、1,392人の参加があった。	B （概ね順調に実施）	・スポーツ推進委員も協力 ・H29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施
3 (新)	競技大会	障がい者	第55回北海道障がい者スポーツ大会	福祉部 障がい福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道障がい者スポーツ大会を開催し、障がいのある方にスポーツの楽しさを体験してもらい、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を促進する。	7月9日（日）に陸上競技と車いすバスケットボールを開催し、464人の参加があった。	A （順調に実施）	・道内で持ち回り開催 ・1市4町で競技を分担して開催	なし
4	競技大会	子ども	中学駅伝苫小牧大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	中学駅伝苫小牧大会を開催し、中学生の健全育成とスポーツ振興を図る。	7月17（月）に開催し、43チーム257人の参加があった。	A （順調に実施）	・スポーツ推進委員も協力	同内容で継続実施
5	競技大会	子ども	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作るとともに、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。	3月上旬にカナダ選手団（ウォータールー市）が苫小牧市に訪問予定。	A （順調に実施）	・トヨタ自動車北海道（株）と協力し事業実施	3月上旬に苫小牧選手団がカナダに訪問予定
6	競技大会	子ども	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図る。	1月中旬に開催予定。	B （概ね順調に実施）	・H29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施
7	イベント ・教室	全世代	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	年5回のウォーキングスタンプラリーを開催し、自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを行う。	全5回とも天気に恵まれ、H28年度を上回る808人の参加があった。 また、新たに親子パーフェクト賞を設け、親子での参加を狙った。 ・6/24（土） 158人 駒澤大学周辺 ・7/29（土） 131人 日新木もれびの道周辺 ・8/26（土） 160人 沼ノ端風おとの道周辺 ・9/23（土） 120人 中心市街地 ・10/9（月） 239人 金太郎の池周辺	A （順調に実施）	・スポーツ推進委員も協力	コースを変更して継続実施
8	イベント ・教室	全世代	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	八地区（錦岡、糸井、中央西、中央南、中央北、中央東、沼ノ端、勇払）で実施するスポーツフェスティバルを支援する。	B （概ね順調に実施）		同内容で継続実施
9	イベント ・教室	全世代	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	10月31日時点で6施設73,096人の参加となっている。	B （概ね順調に実施）		各スポーツ施設において子どもから高齢者までを対象とした事業を展開する。
10	イベント ・教室	障がい者	フライングディスク教室	福祉部 発達支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道フライングディスク連盟の加賀洋一氏を講師としてお迎えし、フライングディスク教室を開催する。	6月17日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含め28人が参加した。	B （概ね順調に実施）	・スポーツ推進室とも連携	同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成29年度実施実績・見込み及び平成30年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成29年度			平成30年度
								平成29年度実施実績・見込み	事業評価	備考	平成30年度予定
11	イベント・教室	障がい者	ボッチャ教室	福祉部 発達支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道ボッチャ協会理事長の樋口幸治氏を講師としてお迎えし、ボッチャ教室を開催する。	7月22日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めて51人が参加した。	A （順調に実施）	・スポーツ推進室とも連携	障がい者と健常者がともに楽しめる形で実施予定
12	イベント・教室	障がい者	車椅子バスケット教室	福祉部 発達支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧WBCの野本孝紀氏と松村和臣氏を講師としてお迎えし、車椅子バスケットボール教室を開催する。	11月18日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含め、49人が参加した。	A （順調に実施）	・スポーツ推進室とも連携	障がい者と健常者がともに楽しめる形で実施予定
13	イベント・教室	障がい者	アイススレッジホッケー教室	福祉部 発達支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	日本代表の須藤悟氏と廣瀬進氏を講師としてお迎えし、アイススレッジホッケー教室を開催する。	12月3日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含め、38人が参加した。	A （順調に実施）	・スポーツ推進室とも連携	障がい者と健常者がともに楽しめる形で実施予定
14	イベント・教室	障がい者	人権啓発活動地域委託事業	福祉部 総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	人権啓発活動として、障害者スポーツのボッチャとフライングディスクを小学校8校で行う。指導は講師を招き行う。	平成30年度新規事業			障害者スポーツのボッチャとフライングディスクを小学校8校で実施予定
15	イベント・教室	子ども	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	8月1日から6日まで開催し、全国27チーム690人が参加した。	A （順調に実施）		同内容で継続実施
16	イベント・教室	子ども	地域スポーツクラブ支援事業	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支援し世界で活躍する選手を育み応援	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	・5月13日（土）に緑ヶ丘公園陸上競技場で陸上教室を開催し、65人の参加があった。 ・5月21日（日）に総合体育館で卓球教室を開催し、119人の参加があった。	A （順調に実施）	・セガサミーホールディングス（株）と協力し、ジュニアスポーツ教室を開催	競技内容を変更して2競技実施
17	イベント・教室	子ども	スポーツマスター事業	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支援し世界で活躍する選手を育み応援	スポーツの分野において輝かしい活躍をしたスポーツマスターによる教室を実施し、市民スポーツの向上を図る。	・10月21日（土）にH28年度に新たに任命された佐藤スポーツマスター（北京五輪銅メダリスト）による上級レベル選手を対象とした水泳教室を初実施し、38人の参加があった。 ・11月12日（日）に本間スポーツマスターによる小学生アイスホッケー教室を実施し、40人の参加があった。 ・12月3日（日）に高澤スポーツマスターによる中学生硬式野球教室を実施し、27人の参加があった。	A （順調に実施）		対象を変更して実施
18	イベント・教室	子ども	氷上スポーツ育成事業	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をにぎる青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	幼児を対象とした氷上スポーツ教室を開催し、遊びやゲームを通じて楽しさを体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。	スピードスケート教室に26人、アイスホッケーを指導するエンジョイスクールに316人の応募があり、現在実施中である。	B （概ね順調に実施）	・スピードスケート体験教室を平成29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施
19 （新）	イベント・教室	子ども	こども議会ウォーキング事業	健康こども部 青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	平成28年度こども議会で提案のあった「子ども目線でのウォーキング事業」をこども議会参加者が開催できるようサポートする。	10月28日（土）に「苦っ子隊!夜の港を探検だ!スタディー&ウォーキング!」を実施し、62名が参加した。	A （順調に実施）	スポーツ推進室も協力	平成29年度の実績を踏まえて検討中
20	イベント・教室	子ども	児童の健全育成	健康こども部 青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図る。	様々なボール遊びなどの運動を実施。活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布している。	A （順調に実施）		同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成29年度実施実績・見込み及び平成30年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施） B（概ね順調に実施） C（やや遅れて実施） D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成29年度			平成30年度
								平成29年度実施実績・見込み	事業評価	備考	平成30年度予定
21	イベント・教室	高齢者	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部 総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。	7月12日(水)に苫小牧市総合体育館で開催し、45団体が参加した。	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	同内容で継続実施
22	イベント・教室	観戦者	プロスポーツの試合開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	プロスポーツの試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	・アイスホッケーアジアリーグ9月～12月 ・アイスホッケージャパンカップ2月 ・フットサルFリーグ10月8日(日)	A (順調に実施)		・アイスホッケーアジアリーグ【9月～3月】 ・フットサルFリーグ【11月】
23	イベント・教室	観戦者	王子イーグルスとの協働事業	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケーの王子イーグルスとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、王子イーグルスへの支援及び応援活動を推進する。	各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施する。	A (順調に実施)		各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施する。
24 (新)	イベント・教室	観戦者	宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボールの開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	元プロ野球選手による親善試合並びに指導者クリニック、野球教室を実施する。	9月30日(土)に王子製紙トレーニングセンターで指導者クリニック、10月1日(日)に野球教室、講演会、親善試合等を開催し、4,285人が参加した。	A (順調に実施)		なし
25 (新)	イベント・教室	観戦者	平昌五輪アイスホッケー女子日本代表の応援事業	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	平昌(ピョンチャン)五輪に出場するアイスホッケー女子日本代表を応援する事業を実施する。	1月中旬に表敬訪問や壮行会、2月中旬にパブリックビューイング等を実施する。	A (順調に実施)		なし
26	補助・助成	大人	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	小・中学校の体育館やグラウンドを市民のスポーツ活動に開放し、青少年の健全育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。	市内の小・中学校23校、中学校2校を開放中である。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
27	補助・助成	子ども	小・中・高校生各種大会遠征費助成金	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツ振興を目的とした全道・全国大会出場について、その経費の一部を補助する。	市内の小・中・高校生を対象に、全道・全国スポーツ大会出場の際に、遠征費の一部を補助する。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
28	補助・助成	高齢者	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけではなく生きがいづくりを図る。	各公共施設で配布を実施する。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
29	補助・助成	町内会	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	町内でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	5町内会から申請見込。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
30	利用促進	全世代	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。	スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント9事業の参加者にとまチョップポイントを付与している。	B (概ね順調に実施)		対象事業を検討して実施
31	利用促進	市内競技者	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	緑ヶ丘公園サッカー場を2ヵ年(H29・H30)改修予定。	A (順調に実施)		・緑ヶ丘公園サッカー場の2ヵ年改修(H29、H30)

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成29年度実施実績・見込み及び平成30年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施） B（概ね順調に実施） C（やや遅れて実施） D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成29年度			平成30年度
								平成29年度実施実績・見込み	事業評価	備考	平成30年度予定
32	利用促進	市内競技者	スポーツ施設の 一体管理	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	H29年度に公募を実施し指定管理者を決定した。	A (順調に実施)		一体管理を開始
33	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿等 助成	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	平成29年度から要項を変更し、利用が増えるような改正をした。11月30日時点で87件の申請があり、平成28年度を超える利用となっている。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
34	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿の 誘致活動	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、本市の優位性をPRする。	2月に各競技団体や企業、大学を訪問し合宿誘致活動を実施予定。	B (概ね順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
35	利用促進	市外競技者	全国・全道大会 開催誘致活動	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	本市の魅力や道内外に情報発信する他、開催補助金により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	15件の全道・全国大会が開催され、その内6大会が補助金を申請している。また、H30年度の日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）開催への依頼があり、協議の結果、アイスホッケー競技の開催が決定している。	B (概ね順調に実施)		19大会が開催予定であり、その内11大会が開催補助金を申請予定 また、日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）のアイスホッケー競技開催予定
36	利用促進	市外競技者	アイスホッケー 競技NTC事業 の推進	総合政策部 スポーツ推進室	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支える世界で活躍する選手を育み応援	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	平昌オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行う。	B (概ね順調に実施)	・平成20年度から文部科学省（現担当：スポーツ庁）より拠点指定 ・現在再指定申請中	北京オリンピックに向けた環境の整備を実施予定
37	支援者育成	推進	スポーツ推進委 員会活動	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種会議への参加や市主催・共催事業への協力等、スポーツ推進委員が地域スポーツの普及・推進を図るため活動を援助する。	・定例会議2回、専門部会2回実施。 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会【旭川市】 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会【白老町】	A (順調に実施)		同内容で継続実施
38	支援者育成	指導	スポーツ指導者 の育成	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	苫小牧市体育協会で少年団・加盟団体向け指導者養成講習会を実施する。	9月30日（土）にドリームベースボール内で指導者クリニックを実施した。 1月13日（土）には高平慎士氏のスポーツチャレンジ教室内で保護者を対象としたペアレンツスクールを実施予定。 また、苫小牧市体育協会でも少年団・加盟団体向け指導者講習会を実施予定。	B (概ね順調に実施)		少年団・加盟団体向け指導者講習会を継続実施
39	支援者育成	補助	スポーツボラン ティアの育成	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市体育協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、とまこまいマラソン大会や各種スポーツイベントへ協力した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
40	支援者育成	補助	苫小牧駒澤大学 との連携	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	苫小牧駒澤大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	インターンシップの受け入れを通じてスポーツ振興への参加を推進した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
41	支援者育成	補助	アスリートフ ードマイスター 養成支援	産業経済部 観光振興課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	・10月7日（土）、10月28日（土）にアスリートフードマイスター3級コースの講座・修了試験実施し、20人が参加した。 ・12月17日（日）にアスリートフード市民料理教室の開催を予定。 ・ゴルフ場向けアスリートフードメニュー4品を開発し、7月18日（火）から市内ゴルフ場1箇所で開催中。	A (順調に実施)		未定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成29年度実施実績・見込み及び平成30年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成29年度			平成30年度
								平成29年度実施実績・見込み	事業評価	備考	平成30年度予定
42	PR	大人	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	ホームページや広報とまこまい、SNSの他、新たな試みとして一部イベントではPR動画も作成した。	B (概ね順調に実施)	・秘書広報課と連携	同内容で継続実施
43	PR	大人	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	サークルガイドを作成	A (順調に実施)		同内容で継続実施
44	PR	大人	保健センターを利用した運動教室・講座	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	サークルガイドを作成	A (順調に実施)		同内容で継続実施
45	PR	子ども	健康に関するイベント実施	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	子どものための行事案内作成	A (順調に実施)		同内容で継続実施
46	PR	子ども	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	子どものための行事案内作成	A (順調に実施)		同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ施策に関する意見書

[意 見]

1) 苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成 28 年度実績及び平成 29 年度予定）の形式（書式）について。

①施策名 4 4 を見ると、「イベント」「競技大会」「助成」「養成・育成」「誘致」などの事業内容が混在している。また、実施月日に沿っているわけでも、担当部署ごとでもない。そのためか、表全体が見にくい。

→ 提案) 施策名の前に「一項目（列）」を設け、事業内容ごとに項目を設けてなどの工夫をお願いしたい。

②A 4 サイズでは、見難い

委員の反応から感じたこと、及び重要なものなので「大きな」表が、必要と思う。

→A 3 サイズの別刷りにするなどの対応をお願いしたい。

2) 番号 1 7 : 施策名「スポーツイベントの情報発信」に関して、「情報発信」の方法について。

- ・「広報とまこまい」は、読む人が限定される（高齢者、主婦層に限定されるのではないか）
- ・HP、facebook は、その「イベント」の存在を知っている人に限定される（詳細を知るため、確認のために見るのではないか）
- ・「ウォチレット」は、私は知らないが、やはり、情報の入手は、一部に限定されるものと思われる。

→ 今、参加している人、興味・関心がある人だけへの情報発信ではなく、スポーツをする、みる人の「底辺の拡大」と「底上げ（見るからするへ）」のために、

A : どのような媒体が効果があるか

B : どこに情報提供すればよいか

などについて、議論をする必要があるものとする。

* 毎回、「こんなイベントがここであった」ことを、新聞で知る毎日です。意外と、情報は入ってこないものです。

平成29年度のスポーツ施設の整備状況について

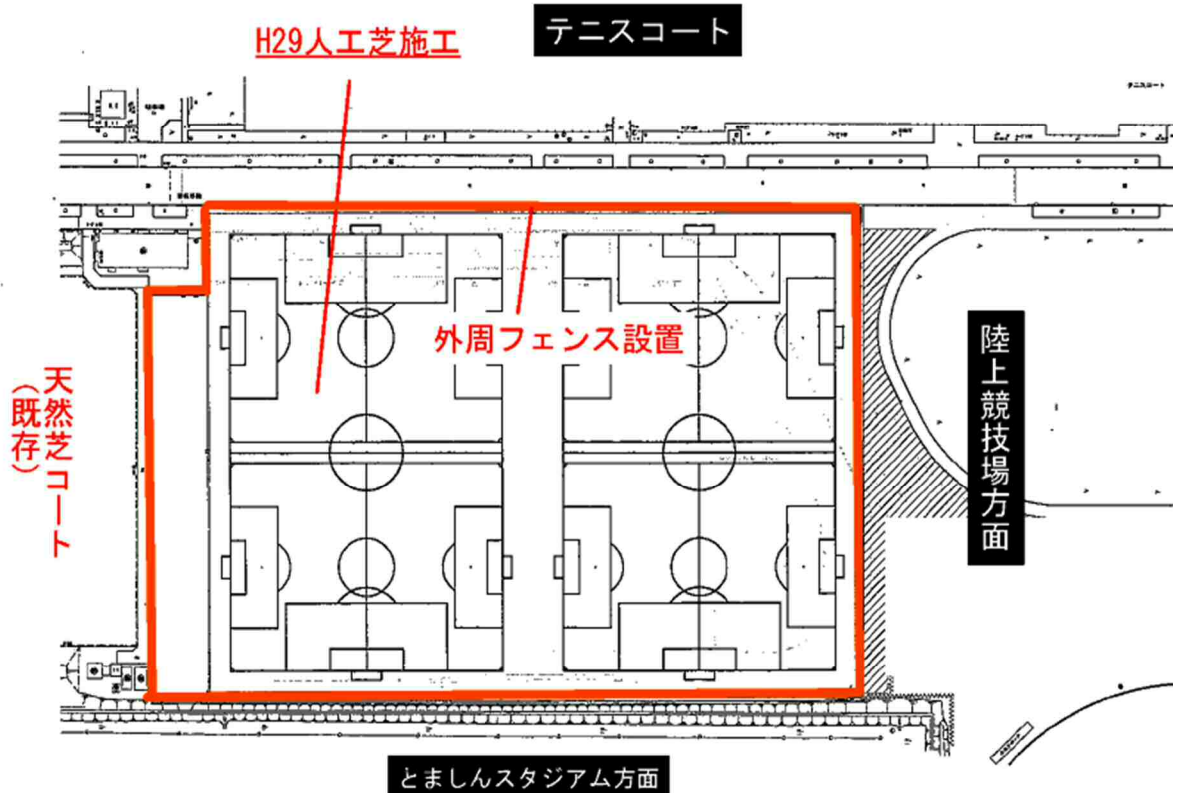
<緑ヶ丘公園サッカー場の改修> H29年度予算：357,000千円

【改修内容】

- ・天然芝コート2面から人工芝コート2面、天然芝コート1面の計3面へ
- ・外周フェンスの設置
- ・上記内容を平成29年度、平成30年度の2カ年で実施

H29改修内容	備考
人工芝1面改修工事	芝長：55mm (着工H29.6月～完了H30.2月予定)
外周フェンス設置	人工芝2面を囲うフェンスの設置 (着工H29.6月～完了H29.10月)

【サッカー場 改修平面図】



(4) 今後のスケジュールについて

○第10回苫小牧市スポーツ推進審議会 4月開催予定

⇒ご案内は3月に送付予定

※次年度以降も年2回の4月、11月に開催を予定しています。